



TITLE:

倉敷天文臺創立六周年記念式報告

AUTHOR(S):

CITATION:

倉敷天文臺創立六周年記念式報告. 天界 1933, 13(143): 120-120

ISSUE DATE:

1933-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162320>

RIGHT:

親しい御関係がおりであるといふので、種々と各方面に御世話下さつて居り、感謝いたして居ります。昨日、お招きによりまして、當地アリアンサ・ホテルでお目にかかりました。御要件は支部設置に關してでありまして、非常に細い點にまで御相談がありまして、一々御尤で御座いました。そのうち取りめました一二の件に就いて申上げておきます。

1. 支部は栗原研究所におくこと。
2. 支部幹事といつた様な責任者は當分私がすることに致しました。不適任であることは勿論で御座いますが御許を得たいと存じます。

上の様なことでありまして、その他の件は申上げる程のことも御座いませんでした。只だ私達として持にお願ひ申上げておきたく存じますことは、觀測とか研究とかのため以外に、單に事務的な事柄のために、あまりに煩雜な世事に苦しまなければなりません際は、私達研究所だけの支部を御許し下され度いのであります。私達は望遠鏡がなくとも、經費に苦しもうとも、後援して下さる方がなくとも、忠實な觀測者であることには永遠に變らない決心をもつて居ります。研究所だけの支部としていただけなくとも、それはいたし方も御座いませんが、仕事は眞面目にいたしますから御安心下さいませ。しかし只今のところその様な心配は起らないことと存じますが。

○入會者について(略す)

倉敷天文臺創立六周年記念式報告

水 野 千 里

昭和七年十一月二十七日、創立六週年記念式を舉行した。この日、山本博士が御臨席の上、獅子座流星群觀測の第一報をお話し下さることになつて居たが、前月の夕刻「ヤマイユケヌ」といふ電報を頂いた。

當日午後二時、水野主事開會の辭に次いで、過去一ヶ年の事業を報告し、原名譽臺長の式辭、前縣會議員古屋野橋衛氏祝辭を述べられ、講演に移り、荒木健兒氏は、ジョン・ハーシエルの小傳、水野千里氏は彗星と流星との關係に就いて述べた。別室には天文に關する新刊書、繪葉書を陳列して縦覽に供し、夜は天體の觀望を行つた。